

<p>自治体名</p>	<p>愛媛県伊予市</p>
<p>自治体の概要</p>	<p>愛媛県のほぼ中央、道後平野の西南部から四国山地の一部にわたり、西北は風光明媚な瀬戸内海に面しており、県都松山市から約 10km、南予の玄関口に位置しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総面積：194.45 km² ・人口：35,743 人 ・高齢化率：34.6% ・産 業：食品加工業（削り節）、農業、漁業 ・特産品：柑橘（紅マドンナなど） 中山栗（和栗） 鱧（はも）、鯛、しらす 
<p>アクセス方法</p>	<p>羽田空港から約 90 分（片道運賃 37,000 円前後） 松山空港から伊予市まで車で約 20 分、バス&電車なら約 60 分 （レンタカー利用の場合、2泊3日5人乗り 20,000 円前後）</p>
<p>主な特色 PR ポイント</p>	<p>【モノ】 瀬戸内海の穏やかな気候でゆっくりと流れる時間を満喫できます。 「すぐ海すぐ山」と呼ばれる平地の少ない地理的特徴や年間を通じての豊かな食と自然に恵まれていて、観光地化されていない隠れた絶景を楽しむことができます。近年は鉄人が集うトライアスロンイベントの場所やフラの聖地として注目されています。</p> <p>【ヒト】 私設の図書館・博物館オーナー、地域づくりに一生を捧げる公務員 OB、閉店予定老舗旅館の継承者、フラの聖地化に取り組む U ターン者、元気に農業・漁業に励む若者、祖父母の店を引継ぐ I ターン若手女性起業家など、民力で地域を元気にする人財(材)豊富なところが伊予市の魅力です。</p>  
<p>主な地域課題</p>	<p>農山漁村エリアの高齢化と担い手不足に起因する、「中山栗」「柑橘」「鱧（はも）」「鯛（たい）」など、地場産品の影響力や認知度の低下、JA などへの一括出荷により、一定の収入は確保できていますが、生産の現状維持が精一杯で、収益の向上が急務となっています。</p> <p>地域経済循環分析を通じ、食品加工業（削り節）、農業、漁業が他の地域経済に与える影響が大きい産業であるが、既存の取り組みでは限界があり、新たな価値を創造し、雇用創出や地域経済の活性化を図る必要があると考えています。</p>